

二〇二〇年までに全国公開映画を監督します！

山下 大裕

東京敦賀人会の皆様、初めまして山下大裕（やました・だいすけ）と申します。私は平成四年生まれの申年で今年二十三歳を迎えました。先日ご縁がありまして東京敦賀人会に入会させて頂きました。

私は映画監督を目指しており三月に大学を卒業し、現在は『DYCエンターテインメント』という映像製作の個人事業を立ち上げフリーで活動しています。

私は高校卒業までの十八年間を敦賀で過ごしました。

中郷小学校、気比中学校、敦賀高校を経て、神奈川県に開学した**日本映画大学**（母体は今村昌平監督が創設した日本映画学校）映画学部脚本演出コースに一期生として入学しました。（福井出身は私のみ）

それから四年、映画史を学び脚本指導を受けたり、十六ミリフィルムを用いた撮影実習に参加したりする傍ら、プロの現場で助監督や美術の手伝いに勤しんでいました。

また二〇一三年、ちょうど二十歳になった年の冬に地元敦賀を舞台にした自主映画**『監督作品『SNOWGIRL』』**を製作し、完成後は敦賀と東京で自主上映会を行いました。そして、大学卒業を目前に控えた今年三月に、自身二作目の自主映画監督作品『**弥生の虹**』をオール敦賀ロケで撮影しました。こちらの作品は現在編集作業中で、今年九月に同じく敦賀と東京で自主上映会を行います。敦賀の方には是非ご覧頂きたい作品です。ご都合よろしければ是非お越しください。詳しい上映予定は、後日ホームページにて告知させて頂きます。

『弥生の虹』あらずじ

閉校を控えた西浦高校で生徒会長を務める良太と幼馴染で副会長の有紀。二人にはそれぞれ想いを寄せる人がいた。卒業までのカウントダウンが進む一方で見込みのない恋に悩む日々。

そんなある日、良太は有紀に急かされ閉校記念のビデオレター作りに亜里沙を誘いOKの返事をもらう。

しかし恋に不慣れた良太はまたとないチャンスをとことく無駄にってしまう。亜里沙に想いは届くのか。

いま、最後の卒業式が始まるうとしている……。

* * *

私が前作を撮った時期は大学生生活のちょうど折り返し地点でした。そこで今度は卒業前に**四年間の集大成**となる作品を作ろうと思いい、再び企画を練ることにしました。

私はかねてから卒業をテーマにした映画を撮りたいと思っていました。しかしただ卒業式の様子を描くだけでは面白味に欠けると思い、最後の卒業式⇨閉校式を題材に取り上げることになりました。

近年少子化が本格的に進み、廃校となる学校が目立つようになってきております。児童減少による学校再編などで敦賀半島にある四つの小学校は、昨年度末揃って休校、閉校となっていました。

本作はそのうちの一枚である**敦賀市立西浦小学校**による全面協力のもと、校舎内や周辺地域などで撮影を行わせて頂きました。そんな西浦小学校の最後の校長先生は、偶然にも私の中学時代の部活の顧問でした。

このタイミングはきつと何かのご縁だと思い、当初架空の高校名『**敦賀港高校**』として書いていた脚本を『**西浦高校**』に書き換え、作中で生かすことにしました。学校名

の変更は校長先生も快諾頂き、撮影に必要な学校の備品なども一式貸してくださいました。撮影中における西浦小学校の方々のお力は本当に多くなるもので、今振り返ってみてもこの学校のご理解ご協力がなければ、今回の作品はここまでうまくいかなかったと思います。これは作品をご覧頂ければきつとお分かり頂けると思います。

同時期に休校となる学校でこうした内容の作品を撮るということ、撮影時は半分ドキュメンタリーを撮っているような感覚でした。この作品が西浦小学校にとってもメモリアルなものになれば大変素晴らしいことだと思います。

今回**敦賀映画**ということ、銘打っておりますが、西浦小学校の目の前には我が街の誇る絶景スポット『**水島**』があります。もちろん映画にもばっちり映っています。西浦小学校の屋上から水島を臨んだことがある人はほとんどいなかと思えますが、これが本当に素晴らしい眺めなので、海辺から見る時とはまた違った美しさがあり、初めて見た日は思わず声が出ました。

また、出演者にも敦賀出身の方が二名いらっしゃいます。一人はヒロインを演じる敦賀**気比高校**の現役三年生**濱頭優さん**。彼女は東京と敦賀を行き来しながら芸能活動を行っています。もう一人は**笠野龍男さん**。現在は明治座の舞台に立っていらっしゃいます。

本作は敦賀以外でも上映していきたいと考えていますので、この作品が敦賀の観光振興にも役立てられたら幸いです。上映会をお楽しみに。

映画『弥生の虹』ホームページ <http://yayoinoniji.com>（インターネットで『弥生の虹』と検索して頂くとホームページがご覧頂けます）